

明けましておめでとうございます。新年の美術館は昨日からオープン。「美の精髓」展も後半に入りました。

週末に行っているギャラリートーク「学芸員おすすめの一点」も折り返し地点です。1月は、夜8時まで開館している金曜日の夜にもトークが行われます(7日、14日、ともに夜7時から)。日中はお忙しいかた、ぜひ夜の美術館にお出かけ下さい。

また、愛知県美術館の目玉、クリムトの《人生は戦いなり(黄金の騎士)》のトークも今週土曜日に行われます(8日、午前11時から)。当ブログで「クリムトを巡る旅」(その1)、(その2)を書いている学芸員がお話しますので、こちらもぜひ。



↑「学芸員おすすめの一点」では、全13人の学芸スタッフがおすすめの作品を解説しています。こちらは一番手のM副館長による、横山大観《飛泉》のトークの様子。

また、1月16日、22日、23日には、小中高生向け鑑賞プログラムが実施されます。こちらは要申し込みです(1月11日必着)。愛知県美術館コレクションの多彩な魅力に触れるまたとない機会ですので、ふるってご参加下さい。

今年も愛知県美術館をどうぞよろしくお願い致します。

(M.Ma)